



### SPORTS X Conference 2018

### スポーツに関わる すべての人に開かれた 日本発世界に向けた カンファレンス

2018年8月2日(木) ▶ 3日(金)

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス、協生館、藤原洋記念ホール ほか  
神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1  
東急東横線 東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅 徒歩1分

主催: 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

共催: 日本経済新聞社

後援: 経済産業省、スポーツ庁

協賛



時間	会場	藤原洋記念ホール(2F)	イベントホール(2F)	多目的教室1(2F)	多目的教室2(2F)
9:30		Door Open			
10:00-10:15		Opening Remarks 「KEIO SDM SPORTS X」 ～なぜ慶應SDM×スポーツか～			
10:30-11:30		<b>D1-F1</b> 日英同時通訳有 「Sponsorship, Ambush Marketing, and Rule 40: Commercial Challenges and Opportunities at the Olympic Games」 「オリンピック関連マーケティングの留意点」	<b>D1-C11</b> 「日本サッカー協会のエンゲージメント戦略」 ～140万人の選手・審判・指導者などのサッカーファミリーとどうつながっていくのか～	<b>D1-C21</b> 「ANAが考える、スポーツを活用した取り組み」 ～ヒコキ移動を睡眠の観点から考える～ ANA ANA ANA ANA'sWay CEO	<b>D1-C31</b> 「“マーケット”は共感しているか」 ～SDGs時代に求められる“スポーツの社会的責任”～ Cheer Blossom Sport for Smile
11:30-12:30		休 憩			
12:30-13:30		<b>D1-F2</b> 日英同時通訳有 「The Next Generation of Sport Consumers」 「次世代スポーツファンの新潮流」	<b>D1-C12</b> 「スポーツ×育成×データ」 ～データで導く新時代の野球選手育成について～	<b>D1-C22</b> 「ソーシャルメディア時代のスポンサーシップ」	<b>D1-C32</b> 「スポーツスタジアムのバリアフリー」 ～日米比較を踏まえて～
14:00-15:00		<b>D1-F3</b> 「スポーツの成長産業化」 ～スポーツが変える。未来を創る。～	<b>D1-C13</b> 「ジャイアント・キリングの流儀」 ～チームビルディング視点でサッカー日本代表を考える～	<b>D1-C23</b> 「アスリートの資質で考える“グローバル人財の要件”」	<b>D1-C33</b> 「スポーツアナリストの育成と可能性を考える」 ～サッカーでの事例を元に～ MVFC
15:30-16:30		<b>D1-F4</b> 「ラグビーワールドカップがやってくる！」 ～あと414日まで迫ったRWCとはどんな大会なのか～ 2019	<b>D1-C14</b> 「I-project」 ～いわきサッカー協会といわきFCが始めた地域ぐるみの傷害予防・選手育成システム～	<b>D1-C24</b> 「グローバルに行こう！」 ～アスリートのように世界を舞台に生きるという選択～ TEAM UEFA	<b>D1-C34</b>
17:00-18:00		<b>D1-F5</b> 「睡眠の力」 ～睡眠はいかにコンディションを左右するか～	<b>D1-C15</b> 「スポーツX企業研修」 ～「最高のチーム」の体感が組織を変える～	<b>D1-C25</b> 「テコンドー日本代表強化現場における測定評価の取組」 ～サイエンス・テクノロジーをいかに活用するか～	<b>D1-C35</b> 「スポーツにおける安全性とは何か」 ～NCAAの安全管理体制を参考に考える～
18:30-20:30		「交流会」 於: 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎1F 「ファカルティラウンジ」			



会場 時間	藤原洋記念ホール(2F)	イベントホール(2F)	多目的教室1(2F)	多目的教室2(2F)	CDFルーム(3F)
9:30	Door Open				
10:00-11:00	<b>D2-F1</b> 「ボストン・レッドソックス&リバプール・フットボールクラブの事業戦略」 ～フェンウェイ・スポーツグループが生む相乗効果～ FC	<b>D2-C11</b> 「今スポーツ組織で本当に必要な人材とは」	<b>D2-C21</b> 「スポーツイベントにおけるアンブッシュマーケティング」～法律的視点から～ TM	<b>D2-C31</b> 「東京2020の新競技スポーツライミングにおける強化戦略」 Co-founder	<b>D2-C41</b> 「青山学院大学スポーツキャリアプログラムの取り組み」 ～アスリートの可能性を高め、未来へ繋ぐ～
11:30-12:30	<b>D2-F2</b> 「スポーツ産業成長の本質を探る」 ～ポスト2020に向けていまからすべきこと～	<b>D2-C12</b> 「東京2020に向けたラグビー日本代表強化ビジョン」	<b>D2-C22</b> 「東京2020に向けたブラインドサッカー強化戦略」	<b>D2-C32</b> 「デジタル時代の野球番組革命」 NHK AbemaTV	<b>D2-C42</b> 「『いつでも、どこでも、準備なしに』だれでも使える選手力強化のための姿勢解析技術」
12:30-13:30	休憩				
13:30-14:30	<b>D2-F3</b> 「スポーツを活用した新規ビジネス創出の視点 -SET分析-」 Digital P&T Sports & Entertainment	<b>D2-C13</b> 「国際サッカーの現場から見た日本スポーツの可能性」 FIFA	<b>D2-C23</b> 「スポーツ×ブロックチェーン」～トークンエコノミーの未来～ AGI Sports Management ALIS KPMG KPMG	<b>D2-C33</b> 「第2の大谷翔平選手育成プロジェクト」～野球医学からの包括的取り組み～	<b>D2-C43</b> 「スポーツ×開発」よりよい社会づくりのためのスポーツの役割と可能性(開発途上国支援の視点から) JICA
15:00-16:00	<b>D2-F4</b> 「スポーツビジネスにおけるベンチャー投資の可能性」 IBMSPORTS GBS CognitiveAI / Chief Investment Officer DeNA	<b>D2-C14</b> 「アスリートとしてプラスアルファのキャリア」 B	<b>D2-C24</b> 「IoT時代のスポーツ価値共創デザイン」～トップチームから、大学体育会、学校体育、地域スポーツまで～	<b>D2-C34</b> 「柏レイソル×スポーツ医科学×テクノロジー」	<b>D2-C44</b> 「ラグビー日本代表及びサンウルブズにおけるコンディショニング管理とリハビリ」 S&C / S&C
16:30-17:30	<b>D2-F5</b> 「コーチに学ぶ機会を」 ～「教える」ことの意味をあらためて問い直す～	<b>D2-C15</b> 「日本のスポーツベンチャーの未来」 ookami Link Sports CEO SPLYZA	<b>D2-C25</b> 「スポーツボランティアの現場から」 ～ビッグスポーツイベントに向けてできること～ VOLUNTAINER PARACUP RunforSmile	<b>D2-C35</b> 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のチケット戦略について」 ～めざすビジョンと実現へのチャレンジ～	<b>D2-C45</b> 「慶應SDM Sports X Leaders Programの取り組み」 ～日本のスポーツ界をシステムとして捉える人材を生み出すために～
17:45-18:15	Closing				
18:30-20:30	「懇親会」 於:慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館1F HUB慶應日吉店				